山口市内酪農家３戸の牛群検定現地支援を実施

山口農林事務所畜産部
平成22年6月7日

平成２２年６月３日、畜産基盤再編整備事業を導入して、規模を拡大した山口市内の酪農家３戸を対象に、指導機関による現地支援が実施されました。

現地支援は、畜産振興協会、山口県酪農農業協同組合、農林総合技術センター畜産技術部、農林事務所畜産部が連携して行うもので、乳用牛群検定のデータを参考に、飼料の給与状況や牛の栄養状態、自給粗飼料の生産情況などを確認し、改善点などを酪農家と協議しました。

今後とも、関係機関が連携して、規模を拡大した酪農家の経営が安定するように定期的に支援が行われる予定です。

現地支援の様子

サイレージの品質確認